

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2026 年 5 月 25 日

山口県知事 様

提出者

住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1

氏 名 JFEプロジェクトワン株式会社

現場代理人:福井隆大

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-351-9150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井化学(株)岩国大竹工場内 プラント建設工事 JFEプロジェクトワン株式会社
事業場の所在地	山口県玖珂郡和木町和木6-1-2
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2025年4月1日 ~ 2026年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	355 t	全処理委託量	355 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	355 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	59 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

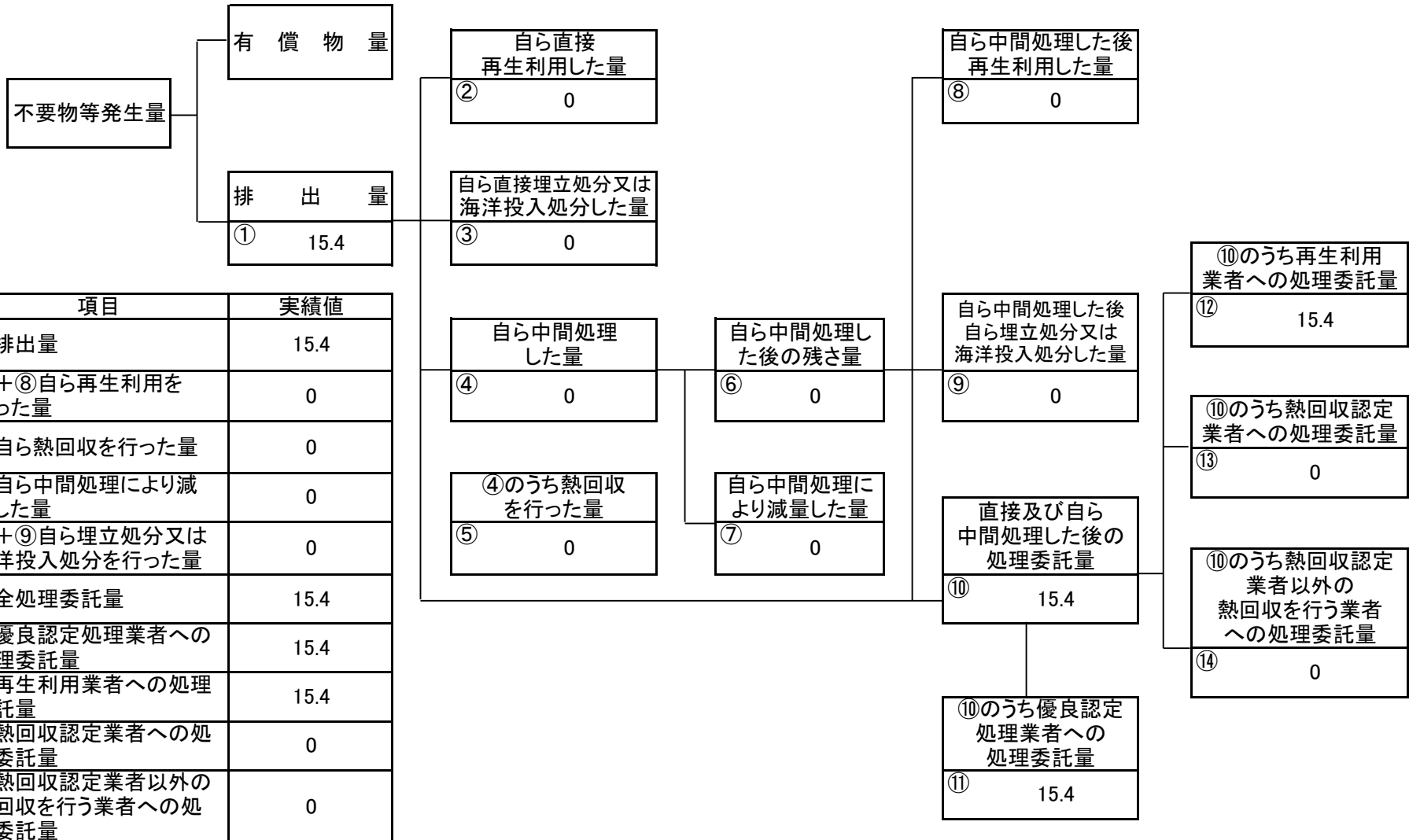
多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和6年度実績)

多量排出事業者 名称	JFEプロジェクトワン株式会社	所在地(市町名)	玖珂郡和木町	事業の種類	特定建設業
------------	-----------------	----------	--------	-------	-------

区分	種 別	計 画 の 実 施 状 況																		
		①輸出量	②自前年度発生 利用した量	③自前年度発生 処分又は廃棄回 入処分した量	④自前年度発生 量	⑤そのうち船舶収 入を行った量	⑥自前年度発生 量の残高	⑦自前年度発生 の削減した量	⑧自前年度発 生した量、自前 利用した量	⑨自前年度発 生した量又は 自前輸入処分 した量	⑩前年度及び自 らの削減(船舶収 入)後の船舶乗客 等の船舶乗客量	⑪そのうち長 江利用乗客等 の船舶乗客量	⑫そのうち船舶 乗客等への 船舶乗客量	⑬そのうち船舶 乗客等への 船舶乗客量	⑭そのうち船舶 乗客等への 船舶乗客量	⑮そのうち船舶 乗客等への 船舶乗客量	⑯そのうち船舶 乗客等への 船舶乗客量			
産 業	燃え殻										0	0	0	0						
	汚泥										0	0	0	0						
	炭油										0	0	0	0						
	炭粉										0	0	0	0						
	炭アールカ										0	0	0	0						
	炭プラスチック類										0	0	0	0						
	紙くず										0	0	0	0						
	木くず	15.40								15.40	15.40	15.40	0	0		15.40				
農 産 物	繊維くず									0	0	0	0							
	動物性残渣									0	0	0	0							
	動物系固形不要物									0	0	0	0							
	ゴムくず									0	0	0	0							
	皮革くず									0	0	0	0							
	ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず	11.0								11.0	0	11.0	0			11.0				
	紙くず									0	0	0	0							
	がれき類	291.90								291.9	29.0	29.0	262.90	262.90	0		291.90			
雑 物	動物のふん尿									0	0	0	0							
	動物の死体									0	0	0	0							
	ばいじん									0	0	0	0							
	13号産業物									0	0	0	0							
	資源品全廃棄物	45.05								45.05	22.53	22.53	22.53	22.53	0		45.05			
	計 (A)	363.35	0	0	0	0	0	0	0	0	363.35	66.93	67	0	296.43	296.43	0	363.35	0	0

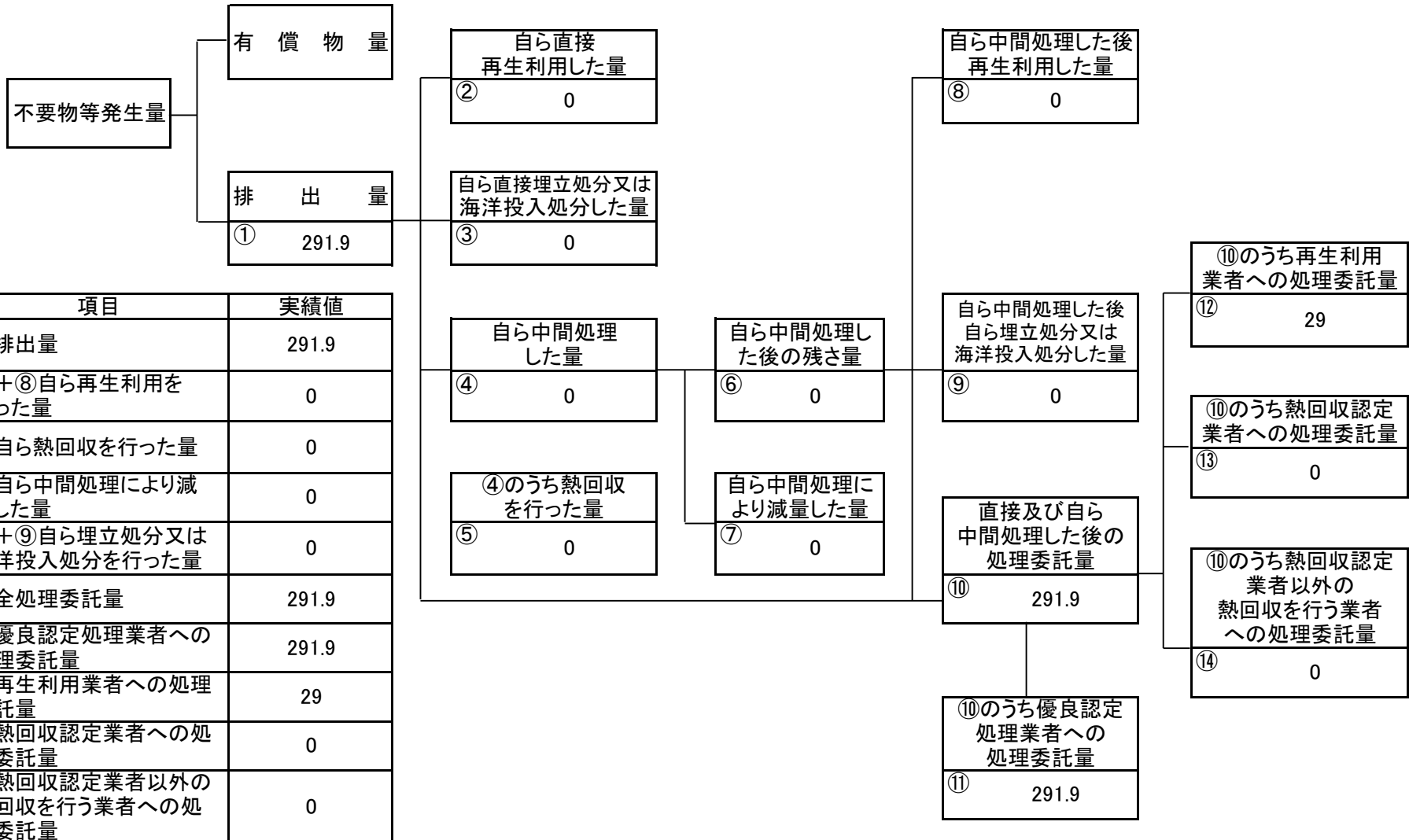
① 計出金額	② + ③ から両 者の和額を行っ た量	④ ⑤から総収支 を行った量	⑥ ⑦から中間 値に⑧の補正を 行った量	⑨ ⑩+⑪から増減 部分及び繰上 投入部分を 行った量	⑫ 完全回収定 率	⑬ ⑭と⑮から定 率算への転換 費計算量	⑯ ⑰と⑱から定 率算への転換 費計算量	⑲ ⑳と㉑から定 率算への転換 費計算量	㉒ ㉓と㉔から定 率算への転換 費計算量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	15	15	15	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	11	11	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
292	0	0	0	0	292	292	29	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	0	0	0	0	46	46	23	0	0
363	0	0	0	0	363	363	47	0	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)

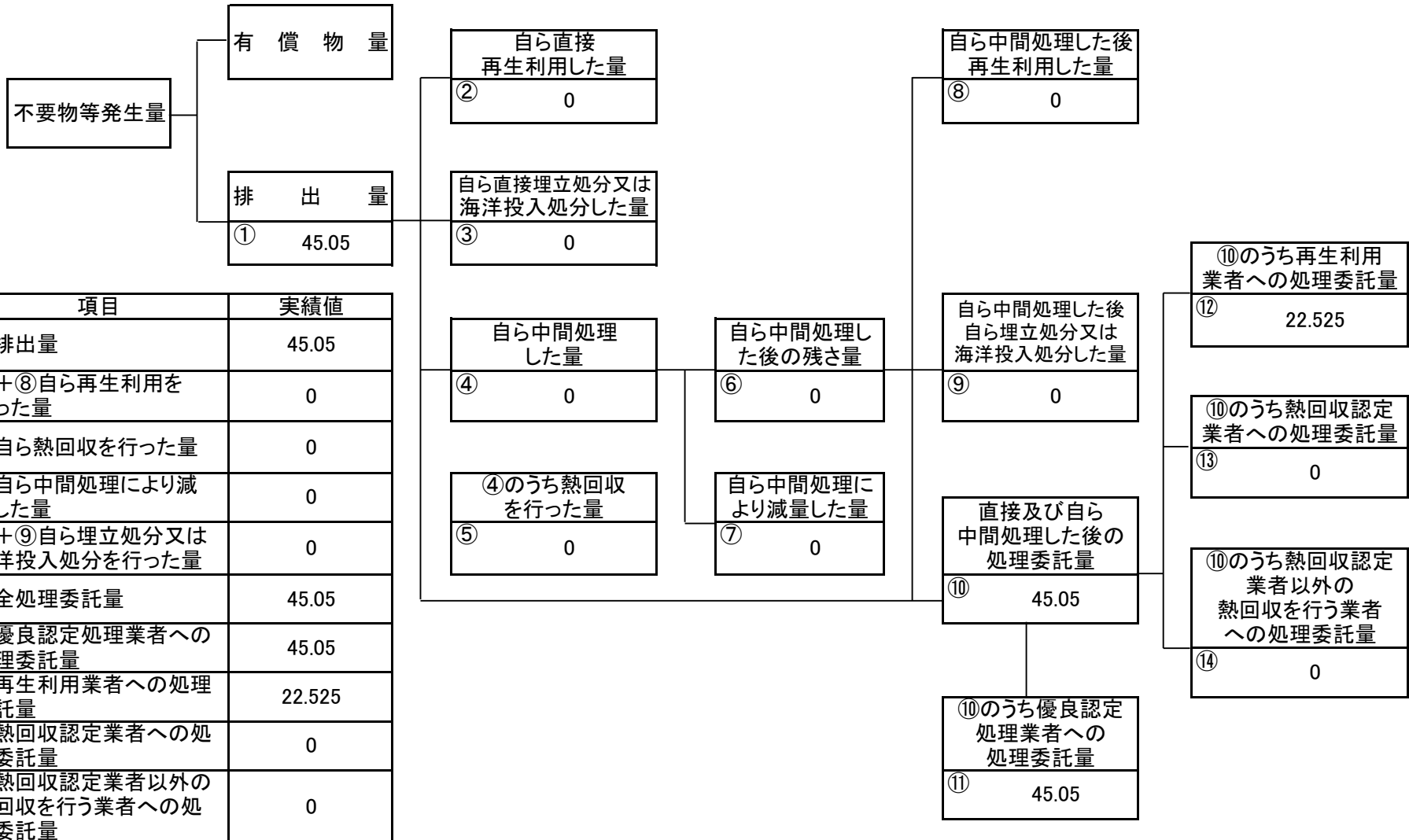


(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。